

# 大和地区日中友好協会だより



令和7年度 第2号（2025年7月1日 編集・発行） 編集 事務局

## 第1回 談話会を終えて

副会長 高木 佑三

私は去る6月15日、大和地区日中友好協会令和7年度「共に語ろう、日本と中国」第1回談話会で“近年における中国の観光事情”と題する発表をしました。当日は本会の役員と会員の皆様のご協力のもと、一般からの参加者を含めて27名のご参加をいただき、談話内容も一定の評価を戴きました。

本テーマは数か月前に決められたのですが、観光業界事情に疎く、知識のない私はレジュメの組み立てに頭を悩ました。そして、日本、中国のあらゆる方面にインターネット、ホームページ等を検索し資料を収集して談話会のレジュメを作成しました。例えば（調査先毎の調査項目は秘）、

日本:国土交通省観光庁、日本政府観光局(JNTO)、  
日中投資促進機構、新聞社(数社)、観光会社(数社)、  
観光関係報道社(数社)

中国:中国文化和旅游部、中国出入境管理局、人民  
日報、新華社、Record China、ウェイポ-、中国旅行社、  
中国 SNS・小紅書



上記調査は、決して順調に進んだとは言えません。例えば日本から中国への観光者数について調べようとしても、新型コロナ流行後、中国側が公表しなくなったので不明でした。日本の旅行社が把握しているのではないかと旅行社数社に質しても、全ての旅行社から「中国サイドが公表していないので、我方も不明です」との回答でした。さかのぼって2019年の全世界観光者の中国訪問者数を調べると、6,570万人でフランス、スペイン、アメリカに次いで4位にランキングされていました。2025年1～5月の中国からの訪日者数は、392万人で2024年の241万人より61.5%増伸していました。

上記の通り近年の日本から中国への観光者数は不明なのですが、何といても中国観光の最大の魅力は悠久の歴史と豊かな自然、そして多様な文化が織りなす壮大なスケールにあります。しかし、日本人の中国観光が伸び悩んでいる主な要因は、中国での決済手段の不便さ、治安に対する不安、衛生面や食文化の違い、航空便の遅延、旅行先の多様化、国際情勢の影響等々が考えられます。中国国務院弁公庁は2025年1月9日に文化観光産業の促進を図るため「文化観光消費を促進するためのいくつかの措置に関する通知」を出しました。この措置を歓迎するとともに、日本から中国への観光者数が増加することを願っています。

## 新入会員からのご挨拶

木村 房子 さん

昨年、大和市の広報を見て談話会に参加し、年度途中で賛助会員となりそして会員になりました。

私は、時々気分転換にひとりでツアーに参加します。中国へは1997年の返還前香港に行き、その後も北京、上海へ。2019年のコロナパンデミック直前に長江・山峡ダム、赤壁周辺を観光しました。

少ない滞在日数のツアーでも、中国そして中国の人々の変化は感じます。特に、今年1月に西安ツアーで兵馬俑など観に行った際には、ビザが不要になりました。往復の飛行機は春節直前の元気な中国人の日本ツアー（大体8日間の日程）で満席。免税の買物を一杯持っていらっしやいました。ただ、機内は日本語のアナウンスがなく、隣席の中国人の方やガイドさんと（あいにく私が真ん中の席になり）機内食のメニューや西安の説明、日本ツアーの内容とか、話がはずみました。カタコトの日本語でしたけれど。

私は中国語が全く分からないので、5月から開講されている大和日中の初級クラスを受講しています。言語の学習だけでなく、中国に係わる活動をなさっている方々とも交流できればと願っています。

## 今年度第1回談話会のご報告

6月15日（日）午後1時45分から、生涯学習センター大会議室で開催しました。テーマは「近年における中国観光事情」で、発表者は本会副会長高木佑三さんでした。

高木さんは半世紀近く対中貿易のお仕事に携わってこられた方で、中国語はペラペラ、中国各地を巡ってこられた本格的な中国通です。しかも、ここ2年間で4回、具体的には県日中の青少年訪中団、湘南日中の昆明訪問団に随行されたほか、お友達とツアーでの旅行もされました。今回の談話会のテーマに打ってつけの発表者だったと言えます。

発表内容は5ページに及ぶレジュメに丹念にまとめてありました。「中国観光に行く動機」から始めて「お薦め観光スポット」「短期滞在ビザ免除問題」「中国観光の問題点」「日本人観光客の訪中感想」「中国人観光客の訪日感想」「中国の観光発展と背景」と、各種データを苦勞して集められるなど、本格的な取り組みがなされていました。クイズも交え、また名勝や景勝地のスクリーンショットも映写するなど、説得力のあるレポートでした。

参加者は会員13名、県日中から2名、一般から12名の計27名で、アンケート結果も「たいへん良かった」が殆どでした。  
(石井)



## 談話会「共に語ろう、日本と中国」今後の予定

第2回談話会以降も同様に、午後1時45分から3時15分まで（入室は1時30分）開催。会場は、生涯学習センター610大会議室。資料の準備等がありますので、会員も含めて事前のお申込をお願いします。お友達などお誘いのうえ、多数ご出席ください。お待ちしております。

第2回 7月20日（日） テーマ「中国の文人たち ～その生活と芸術～」発表者 石井 功

第3回 9月28日（日） テーマ「横浜日中友好協会と上海市の友好交流」

発表者 横浜日中友好協会事務局長 小松崎勇氏

第4回 10月19日（日） テーマ「聴き、歌い、奏でよう！ 日中名曲交流」 佐佐木優韻、他

第5回 12月7日（日） テーマ「最近の中国経済について」（仮題） 発表者 吉田 浩二

申し込み・その他 石井 メール [isao0425@outlook.jp](mailto:isao0425@outlook.jp) ☎ 080-5026-0177